

第1回合同生徒大会報告

5月16日(水)7時限目、第1回合同生徒大会が体育館で開かれ、全会員が参加しました。

冒頭、山口知剛君が議長に選出され、生徒大会が開会。

石井前会長の退任演説、秋元新会長の就任演説に続き、総務委員紹介が行われました。その中で、河内総務委員が群聲改革の方針について説明し、記事募集の呼びかけを行いました。また、植木生活委員長が、本年度から美化委員会と統合となった生活委員会の活動方針について説明を行いました。

その後、昨年度決算と今年度予算について審議、採決が行われ、どちらも承認されました。その中で、バドミントン部の物品購入費について質問があり、林会計委員長から「部員自身の自腹出費額や部員一人あたりの割り当て予算などを考慮すると妥当な金額である」という回答がなされました。

最後に文化祭実行委員会の説明があり、酒井実行委員長から各専門パート長の紹介が行われました。

今回の合同生徒大会は以前と比べて大幅に時間が短縮されました。生徒大会の運営に関するご理解・ご協力、まことにありがとうございました。【総務委員長：羽衣杉雄】

第1回両代議委員会報告

5月8日(火)放課後、5月9日(水)放課後にそれぞれ第1回中央代議委員会、学級代議委員会が開かれました。学級代議委員会は若干名の欠席はあったものの定足数を満たし無事開催されました。

議長、副議長の選出は両委員会とも立候補があったためスムーズに進行しましたが、書記の選出は立候補が少なかったため、少々難航しました。

次に山口前会計監査委員長による昨年度決算の説明、林新会計委員長による今年度予算の説明が行われ、その後の審議の結果どちらも承認されました。

その後、秋元新会長による挨拶、各総務委員紹介が終わると新規定案「公文書の公開に関する規定」についての審議が行われました。この規定はその名の通り生徒会の公文書(各委員会の議事録等)の一般生徒への公開について定めるもので、中央代議委員会では様々な質問がなされましたがどれも各委員が納得する形となり、無事両委員会にて賛成多数により可決されました。【広報委員長：丸野皓平】

新生徒会長挨拶

先日、生徒会長に当選いたしました秋元でございます。

演説を短く済ませた合同生徒大会に代わって、この場で今後の生徒会運営方針について説明いたします。

生徒会則改正を柱とした生徒会の大幅な制度改革も昨年度で終了し、これからの生徒会に求められるのは、「学園生活をより充実したものにすること」です。そのために以下のような改革を提唱します。

◆渉外活動の活性化

昨年加盟した「関西生徒会連盟」を中心とした渉外活動を活性化し、生徒のための渉外活動を行います。具体的には、他校との交流が比較的少ない文化部や文化祭における他校との交流の斡旋を行います。

◆生徒会誌「群聲」の改革

群聲には毎年25万円の予算が計上されていますが、その割に内容が薄い傾向が続いています。この現状を改革し、読む価値のある群聲を目指します。

◆「生徒心得」の再協議

本校入学時に配られる冊子「学園生活」の中に、学校生活のきまりを定めた生徒心得が記載されています。これはかつて、先生方と生徒会役員が定めたものでありますが、15年前に改定されて以来そのままであり、現状との乖離が見受けられます。これを再協議し、現状に合った生徒心得を目指します。

【生徒会長：秋元正圭】

群聲改革について

今年度の群聲改革は主に次の二本から構成されます。

◆有志による群聲委員会の設置

前年度までは文化委員会の内部に置かれていた群聲委員会ですが、今年からは全校生徒が自由に参加できる形にすることで、より生徒に近い群聲を目指します。勿論、これまでの群聲編集のノウハウを持つ文化委員の皆さんには、様々な面で協力していただきます。

◆団体での自由投稿枠の創設

これまで個人からの投稿が中心だった自由投稿枠ですが、新たに団体からの投稿を受け付けます。従来の群聲に寄せられる原稿とは趣向を異にしたものを期待します。

【群聲担当：河内舟月】